

# 金井中だより

〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙 40 番地  
Tel 63-4107 <http://kanai-js.sado.ed.jp/>

〈本号の内容〉

- 1面 巻頭言
- 2面 陸上大会の様子
- 3面 活躍の記録
- 4面 写真トピック

## 足の速さは子どものころには決まらない

校長 香遠 正浩

金井中学校は現在（5月～7月）「文武両道」を合い言葉にした第Ⅱ期「学習・スポーツ両立期」です。

今年度1回目の定期テスト前には、放課後の質問教室に参加したり、自習教室を活用したりして習得・習熟しようとする生徒の姿に感心しました。生徒は部活動にも一生懸命に取り組んでおり、5月の佐渡市中学校陸上競技大会同様、先日行われた佐渡市中学校体育大会でも、勝ち負けはともかく、どの部も持てる力を精一杯発揮しました。

さて、今月、陸上競技100mでサニブラウン・ハキーム選手（20）が9秒97の日本記録を樹立しました。日本選手として2人目の9秒台です。初めて10秒の壁を破ったのは一昨年、桐生祥秀選手（23）で9秒98でした。ちなみに10秒00の記録が出たのは1998年なので、そこから1/100秒を縮めるのに19年もかかっています。

そのトップアスリートである桐生選手は、きっと子どものころから同学年の中では飛び抜けて足が速かったに違いないと思うかもしれませんが。しかし、実際はそうではなく、中学1年の時は同級生の中にも、さらに速い人がいたそうです。桐生選手だけでなく、2018年アジア大会400mリレー金メダルの日本チーム4人全員（1走：山縣亮太選手、2走：多田修平選手、3走：桐生祥秀選手、4走：ケンブリッジ飛鳥選手）が、高校時代以降に伸びた「遅咲き型」だということです。これは短距離に限ったことではなく、陸上競技の日本代表選手のうち、中学生時代に全国大会入賞経験があるのはわずか2割にすぎないそうです。

このことは、小・中学校時代の競技成績だけで才能を決め付けてはいけないことを示唆しています。ところが、子どもは「現状」で自らの可能性を決め付け、進む道を狭めてしまいがちです。「人より劣っている」「自分には無理・限界」「向いてない」と、簡単にあきらめてしまうとしたら残念なことです。



小・中学校時代は、様々な競技に親しみ、運動の楽しさを味わうことが大切です。どんな競技に適性があるか、小・中学生のうちには分からない場合もあります。「遅咲き」はスポーツに限ったことではありません。学問や芸術等の分野も含め、何事も一生懸命に取り組む中で可能性の芽が出て発揮されます。

そのためには、身近にいる先達の指導・助言に対して素直に耳を傾け、決して弱音をはかず、あきらめず、頑張り続けることが大切です。

## 陸上大会を終えて

今年度の陸上競技大会では、6位までの入賞が21、そのうち3位までの表彰台に上がったのは10種目でした。昨年までと比べると優勝がなく一見さびしい感じがしますが、今年度の金井中の登録数が男子21人、女子14人とエントリー数の多くない中で、さらにけがなどがあったことを考えても健闘したと思います。

こう思えるのは、入賞の数よりも、選手たちが少しでも自分の力を伸ばそう、試してみようと挑戦し、目標を達成したい、記録に近づきたい、課題を残しても納得のいく競技をしたいという様子が本当に強く伝わってきたからです。金井中のファイティングイエローユニフォームの選手が、歯を食いしばって走り、自分と闘い、競い合う姿は、応援してくれた生徒にもきっと、いつもより大人っぽくかっこよく見えたのではないかと思います。

陸上部で活動するのは、部活動や勉強や自分のやりたいことと兼ね合いしながらの練習でなかなか大変ですが、一步踏み出せば、知らなかったことに気づき、成長できるチャンスだと思います。そんな経験をした選手たちの晴れやかな顔が印象的でした。

体育主任 橋 あずさ

朝早くから夕方までの1日がかりの応援でしたが、1年生、2年生、3年生とそれぞれが自分のできる応援を全力でしてくれたことに感謝しています。スタンドからの応援が選手を後押ししてくれて、今回の結果に繋がったのだと思います。全校のみなさん、本当にありがとうございました。

そして、全校を見事にまとめ上げ、この1日の応援をリードしてくれたのは応援団の3年生でした。応援練習や全校応援の準備、そして当日の応援まで、自分たちで何をしなければならないのか、今何をすればよいのかを考え、応援を牽引してくれました。昨年の全校応援で3年生不在の中、応援を取り仕切った経験が見事に活かされていたと思います。

吹奏楽部のみなさんの活躍も大変輝いていました。その場その場で決まる応援に対して応援団と意思疎通を図り、見事な演奏で金井中の応援だけでなく会場全体を盛り上げてくれていました。演奏するだけでも大変なのに、演奏していない間も全力で声を出し応援する金井中吹奏楽部を誇りに思います。

選手、応援生徒、応援団、吹奏楽部が丸となり、チーム金井中を佐渡全土に披露してくれたことに感謝です。素晴らしい1日をありがとうございました。去年はインフルエンザの影響もあり、わずかな生徒のみでの応援でしたが、今年度は全校で選手に対して応援することができました。1年生はもちろんのこと、2年生にとっても初めての陸上大会での応援となり、3年生も2年ぶりの全校応援となりました。

朝早くからの応援でしたが、みんなで一生懸命に応援することができたと思います。特に3年生は、仲間の活躍を祈り、精一杯応援したり、積極的に選手に声を掛けたりする姿がありました。1・2年生も3年生に続くように、声が枯れるまで応援し続けた生徒が何人もいました。応援生徒の気持ちが、選手にも届いたはずです。

実は応援団幹部の3年生が、全員陸上部ということもあり、全校生徒を引っ張っていったのは2年生の応援団幹部の生徒でした。何とかいい応援になるようにと、当日まで自主的に応援練習をする姿がありました。初めての陸上大会の応援で前に出て仕切る立場となり、緊張や不安な様子もありましたが、立派にやり遂げてくれました。全校生徒も慣れない応援団幹部にしっかりとついていってくれました。金井中だからこそ、このような温かい雰囲気の中で応援することができたと思っています。

応援担当 長谷川 一憲

# 活躍の記録

## 陸上競技部

【佐渡陸上競技選手権大会 4月27日(土)】

中学1年女子100m	1位
中学男子100m	2位
中学女子走幅跳	2位
中学男子200m	3位
中学1年女子100m	3位
中学1年女子800m	3位
一般女子3000m	3位

【佐渡市中学校陸上競技大会 5月15日(水)】

OP男子200m	2位
OP男子4×100mR	2位
OP女子走幅跳	2位
2年女子100m	2位
1年女子4×100mR	2位
OP男子100m	3位
2年男子200m	3位
OP女子100m	3位
OP女子100mH	3位
1年女子800m	3位
2年男子走高跳	4位
1年男子100mH	4位
OP女子200m	4位
OP女子砲丸投げ	4位
1年男子走幅跳	5位
OP女子1500m	5位
OP男子200m	6位
OP男子800m	6位
OP男子走幅跳	6位
1年男子4×100mR	6位
OP女子4×100mR	6位
2年女子4×100mR	6位



## バレーボール部

【佐渡市中学校バレーボール大会 6月3日(月)・4日(火)】

男子	優勝
女子	優勝

## バドミントン部

【佐渡市中学校バドミントン大会 6月3日(月)・4日(火)】

### 団体

男子	2位
女子	2位

### 個人

男子ダブルス	2位
	3位
男子シングルス	3位
女子ダブルス	3位
女子シングルス	1位
	2位
	3位



## ソフトテニス部

【佐渡市中学校ソフトテニス大会 6月3日(月)・4日(火)】

### 団体

男子	3位
女子	2位

### 個人

男子	3位
	5位
女子	1位
	2位





# 保・小・中・保護者・地域の方々に 町をきれいに ハートフル植栽



6月4日、保育園・金井小・地域の各団体や保護者の皆さんと、国道350号線沿いや花時計の植栽を行いました。様々な団体が連携して、きれいな町づくりに貢献できた、とてもいい活動となりました。

# P T A親子奉仕草刈り作業ありがとうございました

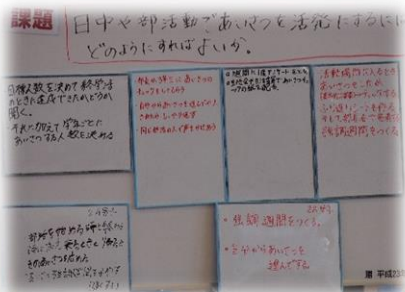


6月1日、PTA環境保健部主催で、親子奉仕草刈りが行われました。早朝にもかかわらず、多数の保護者の皆様から参加いただき、ありがとうございました。おかげでグラウンドがとてもきれいになりました。

鎌の忘れ物がありました。心当たりのある方は、金井中・橘までご連絡ください。

# よりよい学校にするために

## 生徒総会



5月22日、生徒総会で本郡・専門委員会・部活動等の目標や活動内容を確認しました。学級討議も行い、よりよい金井中学校にするために、真剣に議論しました。



## 緑の羽根募金



今年もボランティア委員会が緑の羽根募金に取り組みました。玄関や職員室で呼びかけを行いました。